

少年センター だより

(湖南省少年センター・あすくる湖南)



【住所】 湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎別棟2階

【悩み相談】 Tel 77-7053 Fax 77-7059

【e-mail】 ask-7053@city.konan.shiga.jp

「盆栽の松」を育てるように

最近、新聞やテレビで小、中学生の問題行動を扱ったニュースが多く取り上げられています。「小学生が自動車無免許運転で事故」「中学生が家族を殺害しようと自宅に放火」等々今までには考えられなかった犯罪が起っています。学校でも「対教師暴力」「学級崩壊」「授業妨害」等が起っている事が報道されています。中でも最近特に多いのがインターネットや携帯電話による誹謗中傷からの犯罪や「いじめ」です。心の和む温かい話も世の中にはもっとあると思うのですが、目につくことは残念ながらこのような記事ばかりです。

何故このような事が起こるのでしょうか。家庭や学校・地域で暖かな心のふれあいがあったら、こんな事件は起こらないのではないかと思うと、現在の社会状況を作り出してきた私たち大人に責任の大部分があるように思います。学校でも、知識だけでなく体験活動を取り入れながら、人や自然とのつながりを大切にしたい学習や、道徳教育などが盛んに行われています。しかし、それ以上に大切なのはやはり家庭教育であるように思います。子どもは親の言うことは聞きませんし、親の言うとおりに真っ直ぐ伸びてくれません。だからこそ普段からの親子のふれあいやしつかりとした躰が必要なのだと思います。以前こんな話を聞いたことがあります。

「盆栽の松は曲がっているから値打ちがある。杉や檜のようにただ真っ直ぐ上に伸びただけの盆栽では何の値打ちもない。人間も同じで、生まれた時から親や教師の言うことを素直に文句言わず聞いている子はいないだろ



湖南省立甲西中学校 井澤善雄 校長

うし、もしいたとしても存在感のない人になってしまうだろう。松のようにいろんな方向に曲がり、枝を伸ばしているから価値ある存在となる。しかし、その曲げ所、枝の切り所が大切である。その見極めをするのが親であり学校なら教師でなくてはならない。」と教えられました。

私は教師としてどれだけ見極めた指導ができたろうかと反省しながら「今、言っておかないと」と生徒に厳しく言うこともあります。ご家庭でも子どもと真正面から向き合い、語り、諭し、躰られる親であってほしいと思います。携帯電話の問題につきましても、子どもが欲しがるところからではなく、親としてどのようなことに必要なのか、使用するに当たってはどのような決まりが必要なのかをしっかりと見極めることが、松で言う曲げ所、切り所ではないかと思っています。子どもにとって、厳しい親の判断が、人を育てる上で大切なことを忘れないでほしいと思います。

平成20年度の活動をふりかえって

1 街頭巡回補導

41名の湖南省市少年補導(委)員さんと甲賀警察署少年補導職員、少年センター職員が、市内の量販店、ゲームセンター、公園等を巡回し、子どもたちに“愛の声かけ”をしました。

内容	対象		高校生	有職		無職	合計
	小学生	中学生		少年	少年		
ぐ犯・不良行為	0	0	0	0	0	0	0人
愛の声かけ	37(7)	97(37)	48(12)	8(3)	6(0)	196(59)	196(59)人
合計	37(7)	97(37)	48(12)	8(3)	6(0)	196(59)	196(59)人

()は女子

動員数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	計
補導委員	21	6	6	18	12	4	8	7	12	6	6	106人
警察関係	2	3	3	1	3	2	3	2	3	2	1	25人
センター職員	10	10	7	15	8	9	9	8	9	7	8	100人
合計	33	19	16	34	23	15	20	17	24	15	15	231人

集計は2月末現在の数値

2 環境浄化活動

(1) 有害図書、有害ビデオ・DVD等の立入調査を、高校、警察、南部振興局、少年センター共同で実施しました。

図書取扱店	36店
ビデオ・DVD取扱店	8店
有害自動販売機	0台

立入調査日数	13日
立入調査箇所(自販機)	0台
立入調査箇所(店舗)	62店

(2) シンナー等立入調査を警察、地域振興局、保健所、少年センター共同で実施しました。

調査対象店・・・塗料店、板金業、玩具・模型店、量販店等

取扱店数	38店
出動日数(立入)	5日
出動人数(延べ)	16人
立入数	38店

《適正35店 不適正3店》



(3) 市内3カ所に設置されている白ポストの回収を、青少年育成市民会議の皆さんと合同で行いました。

実施日数	回収総数	有害図書数	有害ビデオ・DVD数
12日	148冊	65冊	20本

(設置場所：JR石部駅、石部図書館、石部図書館前コンビニ)

3 相談活動

少年センターに寄せられる相談は年々増加しており、主な相談内容は平成20年度の場合、①就職・仕事(約47%)、②学校・学業(約34%)、③家庭(約8%)、④しつけ・生活(約6%)、その他(約5%)の順となっています。

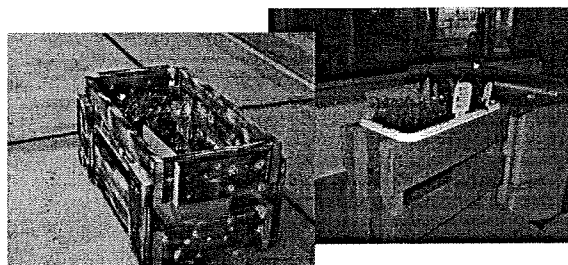
相談方法	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
来所相談	61	62	68	67	82	146	140	62
電話相談	38	61	97	94	73	147	190	135
訪問相談	20	12	23	26	30	23	44	37
メール相談	0	0	0	0	2	5	0	0
合計	254件		375件		508件		608件	

*H20年度は2月末現在の集計

4 あすくる事業

「あすくる」では、学業や友達関係などさまざまな問題を抱え行き場を失っている少年の支援を行っています。

本年度支援を行った少年は男子20名、女子5名で、高校休学・中退後の就労支援が多くを占めました。



通所少年の作品「プランターカバー」

着ぐるみ人形劇の上演

補導委員会女性部は、本年度、誘拐防止啓発劇「お家に帰ろう」を市内9カ所の保育園、幼稚園で上演しました。子どもたちの反応の素晴らしさに、部員の演技にも熱が入りました。



10.2 平松保育園での上演

平成20年度中の湖南省居住地少年の補導状況

(H20年1月～12月)

区分	小学生	中学生	高校生	大学生	専門 学生	有職 少年	無職 少年	総数
喫煙	0	129 (27)	18	1	3	67 (2)	81 (6)	299 (35)
飲酒	0	0	0	0	0	0	0	0
暴走行為	0	0	0	0	0	0	1	1
家出	0	3 (1)	1	0	0	0	0	4 (1)
深夜徘徊	3 (3)	282 (63)	82 (26)	0	1	35 (1)	57 (14)	460 (107)
その他	0	16 (10)	1 (1)	0	0	1	0	18 (11)
合計	3 (3)	430 (101)	102 (27)	1	4	103 (3)	139 (20)	782 (154)
前年同期	0	40 (8)	105 (12)	0	4	143 (1)	205	497 (42)

甲賀警察署生活安全課統計による () は女子

- 平成20年中に補導された湖南省在住の少年は782人（うち女子154人）で、昨年の補導総数497人（うち女子42人）と比べ大幅に増加しています。
- 喫煙や深夜徘徊で補導される少年たちの低年齢化が顕著で、特に中学生の補導数の増加が目立ちます。
- 無職少年の占める割合も依然として高率で、就労・就学支援の強化が課題となっています。

